

明石海峡大橋 フリッジ・ツアー

【報告:石田良明(S55卒)】

日時:平成25年11月17日(日) 13:30~16:10

以前より一度明石海峡大橋の橋脚の塔頂(289m)から橋を眺めてみたく、ツアーに参加しました(私と嫁と女子2名の計4名で)。

当日の天候は晴れ後曇り。意外と寒くなかったです。

塔頂からの”観たい”と思っていた景色が見られて大満足！

ツアー内容

1. 舞子側(本州側)にある「橋の科学館」でツアー受付。参加費3,000円/大人。ヘルメット、ベスト、無線機着用(案内の音が聞こえてきます)。携帯電話やカメラは落とさないようにネックストラップに装着。
2. 会議室で橋の概要や建設のビデオで事前学習。
3. 同じく、階下の展示室で橋の模型などで説明を受ける。
4. 最後のトイレ。……ツアー中、橋にトイレはありません！
5. ツアー開始。
6. 道路下の点検路を約1km徒歩。……グレーティングで隙間から50m程下の海が見えます。まるで空中散歩。
7. 約20分で橋脚到着。……塔頂まで98階に相当。ご心配なく。橋脚内にエレベーターがあります。
8. 塔頂到着。……すごい！想像していたおりの素晴らしい景色！天気もそこそこ見通しも良好！
9. 3班に分かれて記念撮影(ツアー主催者)。



私です。意外と女子が多くてちょっと意外！



この景色を直に見たかった！(本州側)



四国側です



真下を観ると・・・



嫁と記念にツーショット



嫁と女子2名(何故か3人ともピースサイン?)



ツアー参加認定書とお土産の”ケーブル素線の実物”

9. 橋の科学館に戻ってツアー終了。

10. 塔頂での記念撮影の写真をいただきました。またツアー参加認定書と記念品にメインケーブルに使われているものと

同じ鋼線もいただきました。

▽説明から

- ・吊り橋として、中央支間と主塔の長さ高さは世界一（橋の科学館にギネス認定書が展示されていました）。
- ・風速80m/sや阪神淡路級の地震にも耐える。
- ・流れの速い潮流の合間を縫ってケーソンを5cmの誤差で設置した。
- ・工事中に阪神淡路自身で橋長が1m伸びた。
- ・十分なメンテナンスで200年は持たせたいとのこと。劣化しにくいフッ素塗装を15～20年間隔で。ケーブルの腐食防止のため
乾燥した空気を常時送風。

▽是非一度ツアーに参加してみてもはどうですか？感動ものです！

ツアー概要・申し込み → [明石海峡大橋・ブリッジツアー](#)

ツアーは4～11月の毎木曜日～日曜日の午前と午後開催。約30名／回。……残念ながら今シーズンはほぼ完了。

ツアーは結構人気があり土日は2ヶ月先ぐらいいないと予約できません。

上記HPで予約や予約状況が確認できます。

ツアー受付・開始の橋の科学館はJR舞子駅隣接ですのでJRでの移動が便利です。

◆会員の方の近況などの投稿（仕事でも趣味でも何でもいいです）をお願いします。

投稿先（メール） kinugasa@biwako.ne.jp